

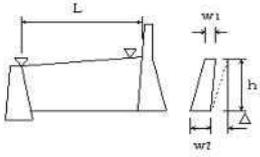
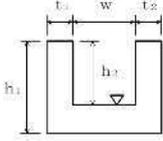
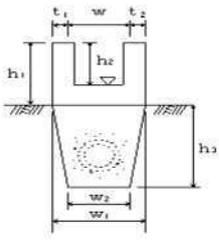
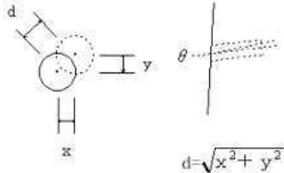
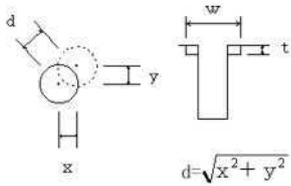
第4編 砂防編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要			
第1章 砂防堰堤	第3節 工場製作工	1-3-4	鋼製堰堤仮設材製作工	部 材 部材長 $\phi$ ( m ) $\pm 3 \dots$ $0 \leq 10$ $\pm 4 \dots$ $0 > 10$	図面の寸法表示箇所にて任意の部分 を測定。				
		1-8-4	コンクリート堰堤本体内工 コンクリート副堰堤工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の寸法表示箇所にて任意の部分 を測定。			
				天端部 $w_1, w_3$ 堤 幅 $w_2$	$-30$				
				水通しの幅 $\phi_1, \phi_2$	$\pm 50$				
				堤長 $L_1, L_2$	$-100$				
		1-8-6	コンクリート側壁工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所にて、任意の部分 を測定。 長さは、天端中心線の水平延長、 又は、測点に直交な水平延長を測 定。			
				幅 $w_1, w_2$	$-30$				
				長 さ $L$	$-100$				
		1-8-8	水叩工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	図面の表示箇所にて、任意の部分 を測定。 厚さは目地及びその中間点で測 定。			
				幅 $w$	$-100$				
				厚 さ $t$	$-30$				
				延 長 $L$	$-100$				
第9節 鋼製堰堤	第3節 工場製作工	1-9-5	鋼製堰堤本体内工 (不透過型)	水 通 部	堤 高 $\nabla$	$\pm 50$	図面の寸法表示箇所にて、任意の部 分を測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤 高、幅、袖高は+の規格値は適用 しない。		
				下流側倒れ $\Delta$	長 さ $\phi_1, \phi_2$	$\pm 100$			
					幅 $w_1, w_3$	$\pm 50$			
				袖 部	袖 高 $\nabla$	$\pm 50$			
					幅 $w_2$	$\pm 50$			
				下流側倒れ $\Delta$	$\pm 0.02H_2$				
		鋼製堰堤本体内工 (透過型)	堤長 $L$ 格	$\pm 50$	図面の寸法表示箇所にて、任意の部 分を測定。		格: 格子型鋼製 砂防ダム  A: 鋼製スリット ダム A型  B: 鋼製スリット ダム B型  L: 鋼製スリット ダム L型		
			堤長 $\phi$ 格・B・L	$\pm 10$					
			堤幅 $W$ 格	$\pm 30$					
			堤幅 $w$ 格・A・B・L	$\pm 10$					
			高さ $H$ 格・A・B・L	$\pm 10$					
			高さ $h$	$\pm 10$					

第4編 砂防編

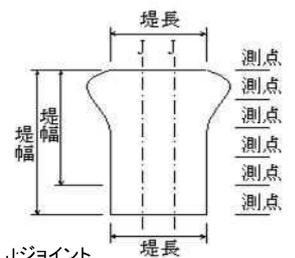
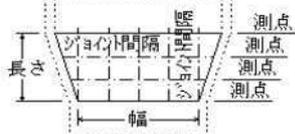
出来形検査基準規格値 (単位mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
第1章 第9節 砂防堰堤	鋼製側壁工	堤 高 $\nabla$	$\pm 50$	図面の寸法表示箇所で、任意の部分 を測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤 高、幅、袖高は+の規格値は適用 しない。		
		長 さ L	$\pm 100$			
		幅 $w_1, w_2$	$\pm 50$			
		下流側倒れ $\Delta$	$\pm H/500$			
		高 さ	$h < 3m$ $h \geq 3m$			
第2章 第5節 床固め工	魚道工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長100mにつき1箇所以上 測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規 格証明書等による。		
		幅 w	$-30$			
		高 さ $h_1, h_2$	$-30$			
		厚 さ $t_1, t_2$	$-20$			
		延 長 L	$-200$			
第3章 第6節 斜面対策	山腹明暗渠工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長100mにつき1箇所以上 測定。 なお製品使用の場合の寸法は、規 格証明書等による。		
		厚 さ $t_1, t_2$	$-20$			
		幅 w	$-30$			
		幅 $w_1, w_2$	$-50$			
		高 さ $h_1, h_2$	$-30$			
		深 さ $h_3$	$-30$			
		延 長 L	$-200$			
第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工	削 孔 深 さ $\ell$	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。		
		配 置 誤 差 d	100			
		せん孔方向 $\theta$	$\pm 2.5$ 度			
	3-7-5 集水井工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測 定。		
		偏 心 量 d	150			
長 さ L		$-100$				
巻 立 て 幅 w		$-50$				
巻 立 て 厚 さ t		$-30$				
第9節 杭工	3-9-6 合成杭工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	10本につき1箇所以上測定。		
		偏 心 量 d	D/4以内 かつ100以内			

出来形検査基準規格値 (単位: mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (本体)	天 端 高 ▽	±20	5 ジョイントにつき 1 箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、検査員の指示による。 監査廊の数高、幅、高さ、平坦性等の測定方法は、検査員の指示による。		
		天 端 幅	±20			
		ジョイント間隔	±30			
		リ フ ト 高	±50			
		堤 幅 幅	-30, +50			
		堤 長 長	-100			
	コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高 ▽	±20	5 ジョイントにつき 1 箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所で測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示による。		
		ジョイント間隔	±30			
		幅	±40			
		長 さ	-100, +60			
	コンクリートダム工 (副ダム)	天 端 高 ▽	±20	5 ジョイントにつき 1 箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所で測定。		
		ジョイント間隔	±30			
		リ フ ト 高	±50			
		堤 幅 幅	-30, +50			
		堤 長 長	±40			

(注)1. j : ジョイント



J:ジョイント

第4編 ダム編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要	
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (導流壁)	天 端 高 ▽	±30	5 ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。			
		ジョイント間隔	±20				
		リフト高	±50				
		長 さ	±100				
		厚 さ	±20				
第2章 第3節 フィルダム	2-3-5 コアの盛立	基 準 高 ▽	設計値以上	5 測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピングローラ)の場合。			
		外 側 境 界 線	-0, +500				
	2-3-6 フィルターの盛立	基 準 高 ▽	-0	5 測点につき1箇所以上測定。			
		外 側 境 界 線	-0, +1000				
		盛 立 幅	-0, +1000				
	2-3-7 ロックの盛立	基 準 高 ▽	-100	5 測点につき1箇所以上測定。			
		外 側 境 界 線	-0, +2000				
	2	フィルダム (洪水吐)	基 準 高 ▽	±20	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。		
			ジョイント間隔	±30			
			厚 さ t	±20			
			幅 w	±40			
リフト高さ			±20				
長 さ L			±100				
第3章 第3節 ボーリング工	3-3 ボーリング工	深 度 L	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。			
		配 置 誤 差	100				